

会議状況等報告書

会議の名称	第3回大府市緑化推進委員会
日時	令和8年2月16日(月)10時00分～
場所	大府市役所 5階 委員会室I
出席者	樋口委員長、水谷副委員長、服部委員、只井委員、程原委員、深谷委員、池田委員(代理出席) 伊藤部長、池村課長、保坂係長、鎌田主査、山田主任、鈴木主事

1. あいさつ

樋口委員長あいさつ

2. 報告事項

(1) みどりの標語・ポスターの最優秀賞等について

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 市長賞など名前が付いている表彰はご本人が選んだものか。

事務局) 市長賞、議長賞、教育長賞ともにご本人に選定していただいた。

委員長) 最優秀賞等は植樹祭等でどう扱われるか。

事務局) 各入賞作品は植樹祭当日に会場に飾るほか、みどりの標語の最優秀賞は植樹祭のスローガンになる。

ポスターは当日配布のパンフレットの裏表紙等に掲載される。

3. 議題

(1) 令和7年度実施事業の進捗状況について

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 若手職員のワークショップはどれぐらいの職員が参加したのか。またコンサルを利用せずに職員だけで進めたのか。

事務局) 都市整備部内の若手職員 8 人と水緑公園課職員等関係部署の職員で行い、コンセプトやゾーニング等を検討した。また職員だけで行うことによる意見の偏りを避けるため、生成 AI による仮想市民会議の意見を参考にしながらワークショップで検討を行った。また工事金額の上限を設定し、その中で工夫して検討した。

委員) 大東、東山、石ヶ瀬小学校で桜やツツジ等の補植を行ったようだが、何月頃か。

事務局) 10 月下旬に市長も参加して植樹を行った。

委員) ツツジは根が浅く枯れやすい。今回ツツジを植えた理由は何か。

事務局) ツツジが市の木となっているため、植樹の際は優先される木になる。ただ昨今の猛暑に対応できる、植え方や樹種は検討していきたい。

委員長) 植樹後の木の管理は学校が行っているのか。

事務局) 小学校の委員会活動の中に緑化委員がある学校が多いため、そこで水やり活動をしていただいている。

委員長) 来年度にニツ池セレトナ事業の移管が行われるが、その経緯や意図を再度説明して欲しい。

事務局) かつてセレトナが建設された際は「自然体験学習施設」として自然に親しみを持ってもらう施設として約 20 年運用してきた。昨今は地球規模の環境の関心が高く、本市でも「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し、自然体験から環境推進に視点を広げ、施設の目的を発展させることとなった。また施設展示も老朽化が進んでいるため、内容も環境を中心とした展示内容に更新することにあわせて、環境部局へ移管する予定である。

委員) セレトナのスタッフは今後運営がうまくできるか不安に思っている部分もある。今後公園事業との関わり

方も含め上手に環境分野に移行できるか憂慮している。

委員長) 緑の基本計画ではセレクトナと連携して緑化活動を行うことも目標としているため、今後もセレクトナとは継続して緑化活動を行っていくことを考えている。

委員) 大府みどり公園の駐車場を拡張したとのことだが、現在はどれぐらい停めることができるか。

事務局) 現在は277台が止められる。ただ、ミモザ開花時期の駐車場需要に対応して、土日限定で近隣企業の駐車場も借用している。

(2) 令和8年度の実施事業について

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 公園整備事業で横根平子と北山で区画整理内に公園を整備する予定とのことだが、いつ工事が完了する予定であるか。

事務局) 現在は北山が令和10年度、横根平子が令和12年度を予定している。

委員) 矢戸川緑地の維持管理だが、これまで活動の中心であった高校生の団体は今後も関わっていくのか。

事務局) 高校生の団体も継続して参加してもらうが、矢戸川緑地の維持管理が継続した活動になるよう、他の人にも関心を持ってもらえるよう講座を開催することとした。

委員) 予定している矢戸川緑地の講座は市外の方でも参加できるのか。

事務局) 参加要件に制限を設けない予定であるため、市外の人でも参加できる予定である。

委員長) 市民に向けて関心を持ってもらうために桜守養成講座等を開催することは良いことだが、講座の開催後、活動が根付き、広がりを見せているかを確認できているか。

事務局) 講座受講後の動向についてはフォローや調査はしていないが、関心が高い地域では毎年講座を開催している。また新規参加者を発掘したい場合は前年とは違う地域で講座を開催するなど工夫はしている。

委員長) 活動の広がりを確認すると今後の施策の参考になるのではないかと考えている。

○議題「令和8年度の実施事業について」の内容について承認。

委員長) これまで大府市の取組を見ていると他自治体と比べてもかなり積極的に施策を展開していると考えているが、事務局としてはどう自己評価しているか。

事務局) 本市は隣接している自治体の中では緑が多い地域だと考えているため、積極的に緑化施策に取り組んでいると考えている。また市長も景観には関心が高い。

委員) 市長はよく市内をよく見ているようで、様々な事を知っている。

委員長) 他自治体より優れている点、努力できている点が理解できれば、今後大府市の緑化推進事業を情報発信する際に良いシティプロモーションとなるのではないか。次年度の事業も情報発信を施策として行っていくことができるか。

事務局) 広報の所管課と連携して上手に情報発信をしていきたい。

委員) ニツ池セレクトナのリニューアルは施設の良さを活かすことができれば本当に良い施設になると感じている。これまでと比べ環境の分野を多く取り入れる予定だが、それが自然と上手く合わせた施設になるよう期待している。

4. その他

(1) 令和8年度愛知県植樹祭について

事務局) ---【資料に基づき説明】---